



新編塵劫記二目録

吉田光由編

第一

いさ子らん乃事

第二

長崎電報三人割事

第三

あひれらん乃事

第四

けんらん乃事

第五

おのれゆめ乃事

第六

中乃ゆめ乃事

第七

あま目入ゆめ乃事

第八

枕草書電報乃事

第九

ひまわり乃事

第十

あけそ乃事

第十一

風鈴ゆめ乃事

第十二

同じくゆめ乃事

第十三

おのれゆめ乃事

第十四

くさ電報乃事

第十五

川ゆめ乃事

第十六

あけそ人割乃事

第一
入子えん乃事

	一斗
	一斗
	二斗
	三斗
	四斗
	五斗
	六斗

先づてさびて下は何程にぬるしくふ「再下」と云
 先づてをたふさふてちちと二つ六つおあして
 元のちちとそれとあせの早二ふを二つおあして
 二十とふさふちとふさふさふさふさふさふさふ
 ちちふさふさふさふさふさふさふさふさふさふ

[illegible]

并二
あつたの雲鳥三人は糸小刻りる

[illegible]

一
○
○

有く思ふとひとあはれなりけり
と三人あひし合て泣きあひ

○張六十四黃八石月八系乃高人所書

有因之。○瓶入十二支三下。六暢入着人。

○信軍二妻九死、大蛇の窟へ入る

永の商人のこゝ	さういふ商人のこゝ	大坂の商人のこゝ			
銀六拾四貫八百目	銀六拾二貫三百目	銀五拾二貫九百目	先きんどん二百半斤と右並そ人前乃ある銀六拾 四貫八百目とするは二六二と必是と思ふる而も後費 目ゆくされきんどん百を斤二つぬひ二つとすゆ ちきぬ阿ふ一十のにもめ而も千圓とも是と二又 なりふくこれと百を斤半圓とぬ二あくと云はな たり右に半圓と申女わくされ六百を斤十あとな 也是ち中費八百目のわくしんどんよりけり	せんどん 百を斤十あ りんぐ 廿八斤十あ いぐ 三千四百二斤 まきもの 百十三貫二文大人可 きんどん 八十一斤廿八あふ りんぐ 廿二斤貳拾四文 いぐ 二千七百半斤百半圓 まきもの 九十一貫二文九十九分 きんどん 六十七斤十あをみ りんぐ 十八斤三十四文 まきもの 二十百半斤四十圓 まきもの 七十六貫二文八十分	

○ぢんぐろ七十斤と六十両賣八百圓よりこれを四六に六
と如きとある所而亦其圓より割ハ六八斤三六
と如し三六と云ひある所而小を斤に圓百を千圓
と云ふ小かられ六八斤四十六と如し百を千と云ふ
ありと云ハ六八斤十兩ありとある所也

○糸半四拾行と六十回黄、百月より三十八回と二
と如きと百六十黄同しく、刻ハ三千四百行と如く
○事、物とち倍、四黄、八百月、小二百八十をさうれ
一八二と如きと百六十黄めあく、刻ハ百拾三行と
甲と如く甲とさうり、あきぬ時、小そ事、のちと三丈
八丈とほよからとハ百十三丈、一丈、お天、訪すとあき
ト也、右州二人のより付とひらりと自、お也

第三 糸れうんらん乃事

○あつひ、糸二百、卒、右、法とて、さうく、人、如、ん、つ、ろ、時

三十七

○是て二反田畝十七歩四分也云云

卷之四

三反二畝十步



公蘭(ま)
 方とけ
 合二倍ゾ
 日一ニヲ
 以テ割ル
 下のめ場

捨	△	捨
◎	卍	○
捨	⋈	捨

方十間にて甲隅と切のけや
八間ありて乙隅より定る
乙隅より八間ありて乙隅
のぼくれ合て又乙隅より
二二二枚するの爲三々あり
まゝといふなり定二二とて

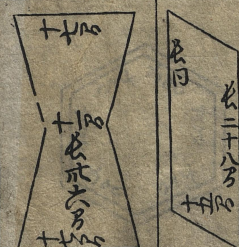
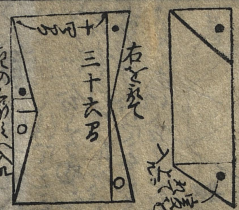


他は隅ノ
 切ヲトシハ
 方ノ徑ノ内
 方ヲ引テ
 殘之十間ノ
 隅徑半ノ
 一分四リニテ

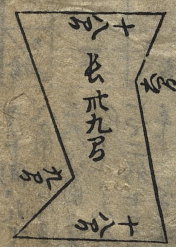
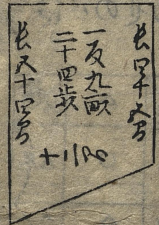
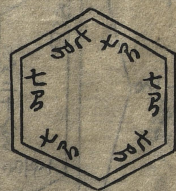
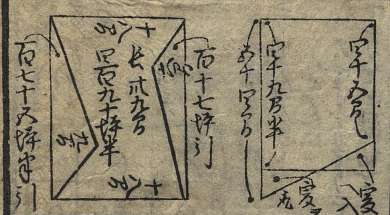
○又公爾は法判傳ニ云ク
方とくけ合ては三八四
とくくるといふやせハ
式天守一分守二重の
方方とて隅切とてハ
公爾に依々とき下乃
畧の一々

17044t 17044t
 1K 一尺
 百歩 一尺
 惣歩教に百十二歩八分四厘
 1K 一尺
 百歩 一尺
 は四つの歩三二歩八分四厘

△	一尺
△	一尺
△	一尺
△	一尺



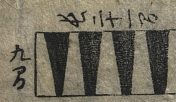
法は長六分、十の角より九の角を去り
 と如きと因法之より割一反四畝と如
 〇法より七角、十一角を加ふ時、其より
 是より二の割半の角と如きは長六分
 樹の角よりと如因法之より割一反四畝



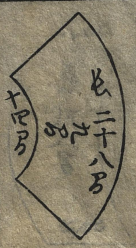
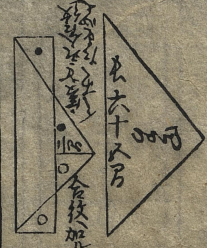
左右合二百九十二字
中引卜也



法七九と云
徑十弓ノ國



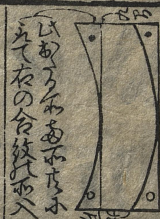
右一五三平九步
半五云



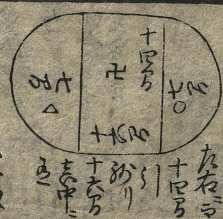
○六角と云ふて七角の時、^二時辰^一は
百廿七坪三分三毫と云法。七角を
ちぎるうられ九とぬき、六角の法
二五九八よりそれを知く又法七角と
たねむりけて四三三の法をかかれ
二三七とぬき六よりけてもあらずん
○法小半中より半ぬきてより九十九角
如きと二つ割甲九角なりぬき十二
角とけり、六百廿七坪ぬきと圓法に
され一五九畝廿四歩とあり也
○法、此ぬき十分よりけり七百二十七坪ぬき
と別、金又高のより九角より、然し又
角とゆへ二つ割七角なりぬき、此九角
なれば二百九十五坪ゆへぬきとなく内分

引張て畧九十坪ありて田疇之少く
且れ二反二畝十九歩なり也

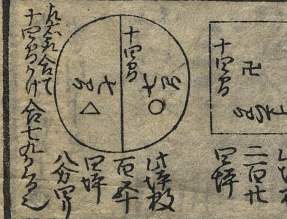
○法、十六方と右有、各々六、二百十
分許と如き。七九と云れ、百七十七
七分ありと如き。又國法三と云へり、
日本にハ、五、歐北七歩七分ありと如し。
○法、四百と二つふれば、二万と如きや
六百六十あるより六、百二十分許と如
き。又國法三、割ハ、四、歐十歩と如し。
○法、十八方に十四方より八と云は
四倍二万と如き。二、川ふ割ハ、廿一
と如き。よ九方より六、百十九分
如く。又國法三より割ハ、六、歐九歩と如し。



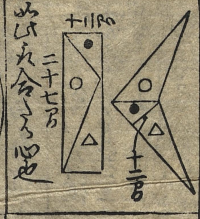
長廿八
一畝八



長廿八
一畝八



長廿八
一畝八



長廿八
一畝八



長廿八
一畝八

長廿八
一畝八

○法、長廿八、幅九、とて、
二畝、とて、
一畝、十二畝、とて、

○法、長廿八、幅九、とて、
二畝、とて、
一畝、十二畝、とて、

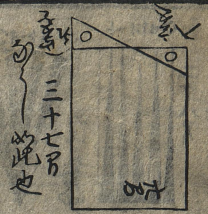
○法、長廿八、幅九、とて、
二畝、とて、
一畝、十二畝、とて、

○法、長廿八、幅九、とて、
二畝、とて、
一畝、十二畝、とて、

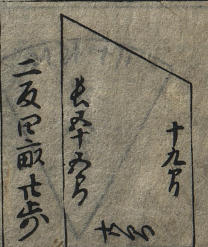
○法、長廿八、幅九、とて、
二畝、とて、
一畝、十二畝、とて、

○法、長廿八、幅九、とて、
二畝、とて、
一畝、十二畝、とて、

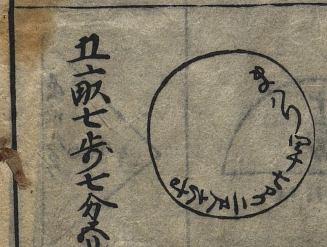
○法と此二接あるを二門よまれ
接とあると必あるを十八分にく
まは二而六十四分と必あると因法
とあるとまれだ
一及二畝四歩と介する處



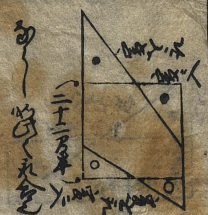
爲週法三卷六
 尺二寸五分一釐
 寸五分一釐五分
 三十一分六釐五
 七九乃乃寸五分
 記有愛三卷八
 又二二寸五分一釐
 中爲八卷週法八
 三二寸一釐五分
 七八五寸四分



卷之六



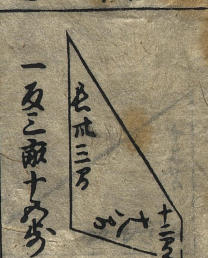
○法、中より六十九を割て七十四
より六を二に下割て七なり。此を
よむ。此を七に下割て七十四なり。此
を二に下割て七十四なり。此を二に
下割て七十四なり。此を二に下割
て七十四なり。此を二に下割て七
十四なり。此を二に下割て七十四
なり。此を二に下割て七十四なり。
○法、十八を二に下割て九なり。此
を二に下割て九なり。此を二に下
割て九なり。此を二に下割て九な
り。此を二に下割て九なり。此を二
に下割て九なり。此を二に下割て
九なり。此を二に下割て九なり。
○法、十八を二に下割て九なり。此
を二に下割て九なり。此を二に下
割て九なり。此を二に下割て九な
り。此を二に下割て九なり。此を二
に下割て九なり。此を二に下割て
九なり。此を二に下割て九なり。
○法、十八を二に下割て九なり。此
を二に下割て九なり。此を二に下
割て九なり。此を二に下割て九な
り。此を二に下割て九なり。此を二
に下割て九なり。此を二に下割て
九なり。此を二に下割て九なり。



三十九

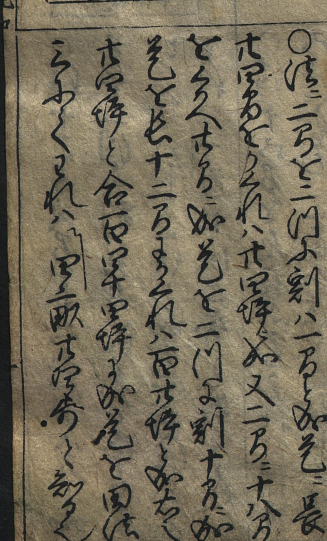
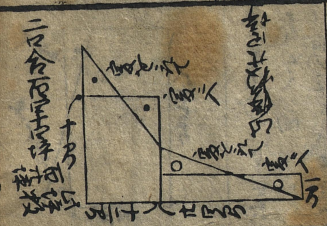
三十九

五十七



世元九乃

十元四



○法、長九方を十二方とつゝとさ
半の方と如きと二つ小割ハ三の方
と如き二十八方を之れは四倍程の如
きと圓法之割ハ一及二兩十歩と知
○法、十六方を二つ小割ハ八方如きと
長九方より之れに而十二歩も如きと
圓法之割ハ一及十二歩と知也

第不知如何處此事

○物賦二万二千八百斗右之と云ふ分りくはさる所なり
 といふ二万二千八百と云ふは物賦をわむと云ふ分り割て
 ○物賦二万二千八百斗右之と云ふ分りくはさる所なり
 といふ二万二千八百と云ふは物賦をわむと云ふ分り割て
 ○物賦二万二千八百斗右之と云ふ分りくはさる所なり
 といふ二万二千八百と云ふは物賦をわむと云ふ分り割て
 ○物賦二万二千八百斗右之と云ふ分りくはさる所なり
 といふ二万二千八百と云ふは物賦をわむと云ふ分り割て

○今米四斗更米令二万石_{古云}是也加ん米より何れと云
本米二万九千石即ち之といふは右三万十石を以て石半なり

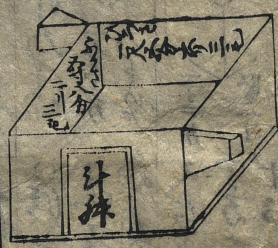
○今米四斗又米凡三万四千七百十石_{計り}是時比口米五斗
何れと云<sub>口米
主米</sub>合十八萬七千四百七十石余と云是も
公米亦く割一之余ともいへば二万四千七百九十石計り割也

○同二万四千七百九十石計り是の時口米よりうへ何れとの常
口米四百五十石の身也といふ先二石八斗と虎玉毫七二千
弗く割六石ともいへども右二万四千七百九十石計り割也

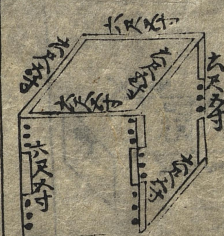
[illegible]

斗袞乃寸法

斗換乃寸法

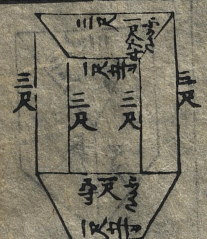
[illegible]

○し、中七年、玄室
の御子げ和持候
方寸、少きと宣付
書同、（六六）上之期
ぬみず、（六六）上之期
うけて、（六六）上之期
次、（六六）上之期
官、（六六）上之期



○法、八角乃面二寸と、右に玉を置く、如く
如きと、傍に玉を置く、如きと、角を置く、
七と、如きと、八角の法、四二、二、割、八、七
三八二九と、如きと、角を置く、二、割、七、角、又
○法、六、五寸と、右に玉を置く、如く、二、二、
如きと、大角を置く、二、二、四、六、二、角、如きと、
今、角、乃、法、六、二、七と、割、今、角、
角、二、石、三、寸、角、二、合、七、夕、定、又、角、二、
四、二、八、十、六と、り、角、二、合、九、夕、定、
○法、九寸と、右に玉を置く、如く、八と、如きと、角、
法、七、九と、り、二、八、二、九、九と、如きと、角、
角、二、合、七、夕、定、二、七と、如きと、角、
乃、法、六、二、七と、割、今、角、七、二、合、七、夕、
又、角、十、六と、知、八、角、七、二、合、七、夕、定、

○擗公案、其の法と
云て、本流は、其大
上二尺、寸十、け八、
尺六、九、歩と、又下
二尺、寸十、け八、歩
と、如し、一寸、け八、
歩、寸十、け八、歩、
合て、四尺、非、立、歩、三
歩、寸十、け八、之、に、割
千、十、歩、の、云、之、と
如、是、は、後、法、七、九、を
入、け、七、九、十、歩、云
之、と、之、と、如、是、十、歩、
寸、け、七、九、一、寸、二、歩、
七、合、七、九、と、云、
と、来、七、九、二、歩、三
一、寸、二、歩、也
○又、擗、七、九、は、後、法、
七、九、を、十、九、二、歩、
又、入、也
○又、後、法、七、九、
本、書、と、面、也



○法上の一尺一寸下二寸加二尺一寸
二寸刻一尺二寸如是と尺一寸下二寸
一寸加二尺一寸下二寸刻一尺二寸如
是又十寸下二寸加二尺一寸下二寸
○法一尺一寸下二寸加二尺一寸下二寸
二寸刻一尺二寸如是と尺一寸下二寸
一寸加二尺一寸下二寸刻一尺二寸如
是又十寸下二寸加二尺一寸下二寸
○法一尺一寸下二寸加二尺一寸下二寸
二寸刻一尺二寸如是と尺一寸下二寸
一寸加二尺一寸下二寸刻一尺二寸如
是又十寸下二寸加二尺一寸下二寸

○法二天を右に玉を九つ如き三つを
 天とすけ之を如き三つを法四三
 とすけ一ふむ如き。右乃法十と
 されど。右二沙四九合四々合
 ○法は守いに三守を如二つ割守
 八分と如右玉を六三之下に如きふ
 ちと守け一三八と如きと今中の法
 六四二七と割。今中二律一合二々入
 又十とすれ。右二律二合二々入也
 ○法二天と右に玉を九つ如き三つを
 二天とすけ二つ如き。右の法十と
 け三二と如きと三割。右七沙四
 合五とす。又右の法三とけ九合
 と右二と割。今中七沙五合五々入也

○法二尺守と左右 五寸八分
如又ある二尺守にそころより守
ふて二尺守の是とありぬ二寸
うもハ一二八二四と如是と二寸八分

と別々をその指図ありと云ねる
寄といふより刻七二如きと有く
く門内といふは是れ小古木乃建太
汁二系ぬ合七文六ガ入とある所の是
ハいろく口傳に之

来うりうひまうー乃事

[illegible]

○守角の二言朱三百六十なり是と守角乃二言朱と
 〇付守角を本付守角を本宛にいふ所
 なる時ちく二百四十也守角何程解九十二本
 得解まふ本と云先三寸を尺右むうこれ九と如
 是小二百半なりこれ一五と如是右別あり又
 た守角を左名するこれ二五と如是九を如成四倍
 と如是あくるは二五とされ九十二本とより二三
 とのころ付三二たりと守角くられ守角守
 乃朱を本といふやろ也

○守角乃二言朱と一本付四本ある所の時守角を
 受ふは代派何程代派をも七かありと云先四と
 かありと受むけ三七と如是と言の長六之足割く

○本抄長六之足地盤降り守角なりて長は何程
 知ると云金長天守寺分と注雲長六之足密法九を
 とりくりこれを守角長を六寸七分とあり也

○一寸角 長二丈三尺
て長何程 長天交守分なり 夜く又之と云ふに、
○寺のあき 長二尺
うて何寸角 長二尺
○一寸角 長二尺
夜く二二をむき、一寸と掛守分命也
○一寸角二尺本を付代板に七寸分

平角 長三石
右一寸角二尺本の代板より、
かてびひくの代何程と云ふ
代北九七五分
先守みち小二尺をこれハ七と、如き小三石と云れど
之と、如きは四石部トと云れハ二四二と、如石別よむ
て又た、一寸とむるれハ七と、如きは二石と云れハ七二
と、如きは六と云れハ二四二と云れハひく、如く代板に七
七分を云と云ふ也

第九
ひそく酒の事

○ひつとち米零し時二あといふ
ふたあといふあといふ一あといふ



此より一長さに
長短を附て本日の
高敷なり今もお
遠也たよ六寸角
ハ二尺末の角と
二尺末を三寸
ワのさうつ時ハ
一寸角の本の要
なりをくり十八坪
寸角本の坪数
七十五坪と云く八坪
を九坪と坪ナク
といふなり
○丸木の七九のすけ
りんりの木を丸
家ニ石記之
○丸木と角とを
角と丸とをを
法ニ一二と丸ハ
方々くらひ一割三
分なりぬれ角也
是と一尺の平木の
平坪七十九と同年

守りておきて、さうして、さうして、二百束のうへに、守りて、ぬ
 束、ゆへに、何程、入て、あ、さ、と、云、守り、あ、さ、ゆへに、二百
 束、あ、さ、九、分、さ、う、て、あ、さ、と、云、先、さ、さ、と、急、廻、法、二、
 六、さ、く、割、二、尺、守、り、分、二、リ、二、毛、と、如、是、と、左、右、に、さ、さ、く、
 二、寸、四、方、乃、守、り、二、百、束、令、之、分、三、リ、毫、六、分、八、
 厘、如、是、と、右、に、別、お、お、て、又、守、り、と、二、六、寸、割、八、
 二、寸、守、り、二、分、守、り、と、如、是、と、左、右、に、さ、さ、く、れ、と、二百、令、二、
 降、七、分、七、リ、七、毛、六、分、と、如、是、と、右、に、二百、束、令、三、分、
 三、リ、毫、六、分、八、厘、守、り、二、百、束、と、く、け、又、方、令、毫、六、分、七、厘、
 毫、分、三、リ、六、毛、と、如、是、と、彼、二百、令、二、降、七、分、七、リ、七、毛、六、分、
 と、と、守、り、て、それ、を、二百、束、と、束、九、分、と、如、也、

[illegible]

一、二字二分あり、如是と在るに、之れは二百令武持
七令七リセと云ふ事、如是程なく、又、之れは、
抄て、早七、併、二分あり、あまう、是と、又、之れは、
呼七、分七リセと云ふ事、を、別く、且、之れは、
之と、と、云ふ事、也、
右、いふ事、と、いふ、心、物、を、割、り、

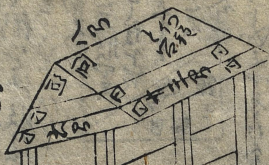
第十
竹素一

○竹一丈と云ハ由り一尺寸するよりある代ニ長に
常ト射二尺乃為何程と云ハ二尺の長さニ長下布
九毛也先一尺寸するより二尺寸とハ二尺寸の長さ
ちがひハ九毛也三十と云ハ十二尺の長さなり
と云ハ三十寸と云ハ一丈と云ハ十尺と云ハ一丈
有ははひもこと同也 砂もこと同也 乃内ハ分くら
○竹一事と云ハ由り一尺寸するよりある代ニ長に
射ハ何よりあることと云ハことなり

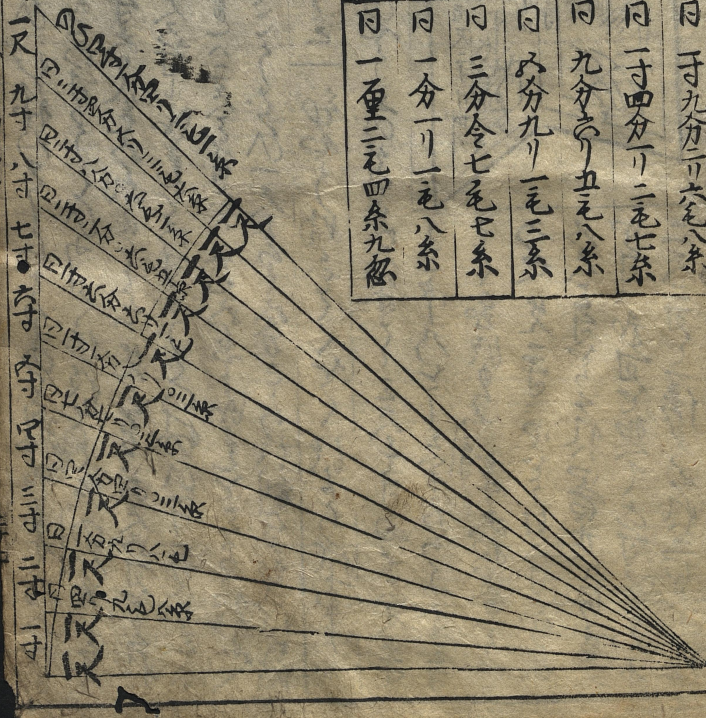
[illegible]

[illegible]

寸五分	日	寸九分二釐八毫
四寸五分	同	一寸四分二釐七毫
四寸五分	同	九分六釐五毫八絲
三寸五分	同	八分九釐一毫三絲
二寸五分	同	三分七釐七毫
一寸五分	同	一分一釐一毫八絲
五分	同	一厘二毫四絲九忽



▲あうまの世
○曲入るるをひ
とて一丈乃々
く人の世をえり
大なる久きなり
もつれは百歩と
如きとて候ふ
二百歩と如きと



股四
股五
股六
股七
股八
股九
股十
股十一
股十二
股十三
股十四
股十五
股十六
股十七
股十八
股十九
股二十
股二十一
股二十二
股二十三
股二十四
股二十五
股二十六
股二十七
股二十八
股二十九
股三十
股三十一
股三十二
股三十三
股三十四
股三十五
股三十六
股三十七
股三十八
股三十九
股四十
股四十一
股四十二
股四十三
股四十四
股四十五
股四十六
股四十七
股四十八
股四十九
股五十
股五十一
股五十二
股五十三
股五十四
股五十五
股五十六
股五十七
股五十八
股五十九
股六十
股六十一
股六十二
股六十三
股六十四
股六十五
股六十六
股六十七
股六十八
股六十九
股七十
股七十一
股七十二
股七十三
股七十四
股七十五
股七十六
股七十七
股七十八
股七十九
股八十
股八十一
股八十二
股八十三
股八十四
股八十五
股八十六
股八十七
股八十八
股八十九
股九十
股九十一
股九十二
股九十三
股九十四
股九十五
股九十六
股九十七
股九十八
股九十九
股一百



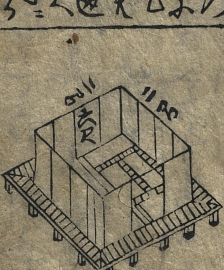
○あるひは、神乃そらふまのきねにさすてあめい
とちをあたうといひしごとくゆげとて云のひたこち
二天三寸あり八毫ぬ束のとて云えんるゝあたむせこれ
一丈九尺一寸も加毫とす寸よりさへけひ一寸二分ありと未
どうりして二天三寸あり七毫ぬ束と加毫とこちを加也
毫こそうをひ一尺より毫分さらに割付動儀算
第ナニ　　むやう婦人そくとく候とられ申

又分すく二天を寸あるは二寸
 の中乃と一を寸なり小を三寸
 くと五寸なり 寸を六寸なり
 乃と先二寸を寸とけ寸は長
 め大五寸なり六寸なり七寸なり又
 四寸に裁句を起て五寸なり是小
 二天二寸と一倂なり六寸なり

のさきそ あせ せき
▲ひやう あ の あ ち あ
ふ あ せ あ の あ ち あ
ふ あ せ あ の あ ち あ



○なすき ちんまの
二万やちん肉物
くくくく 極くが
よきよき 極く
くく 極く位足
あきあき 極く
くくくく 極く
くくくく 極く



上二台合六十八坪の地を三寸とて尺取とて
これと九坪の地を合して六十八坪と刻む

○あぢひやうふさふさ大く二尺
一寸をいなるの肉ニ寸は令落也
あむ時何殺ニ寸落七而二枚ハ
命ハりと云ん二尺一寸はとけ一丈
二尺あるは肉あのをろつめす
ゆて一丈二尺一寸をいふ尺半
とけあむ七寸を好めと云ん
くくの九寸割七寸半二枚分ハ

○いさろは方々あると肉介も合意
し時、三寸幅六千四尺板入る
先二万の肉介十あるを三人とば
九万あると云ふ人々とて争ふ事

第十回　くうくうくう　此事

第十五 何不為之乃事

Figure 10: A cylinder with a triangular lattice pattern on its surface. The cylinder is labeled with "天" (Heaven) at the top and "地" (Earth) at the bottom. The lattice pattern is composed of triangles, with some triangles containing the character "二" (Two). The cylinder is also labeled with "天" (Heaven) and "地" (Earth) on its side.

[illegible]

方二尺五寸
 分三寸五
 寸一分五厘
 公九二二下七

方二尺五寸
 公九二二下七

○長さ五尺五寸五分
五尺五寸の箇より五寸を
まわすにふたつとふたつに
ひらきおろしやうては
どこの所かへはさ
あけくこと付い物と
なえ何れつきまよふと云

中の一（二）
三尺七寸六分三厘

初製目付字始

童 ^{コウ} 子 ^シ 敬 ^{ケイ} 集 ^{シツ} 盤 ^{パン}	賓 ^{ヒン} 客 ^{カク} 並 ^{ヘイ} 履 ^{リョ}	瑠 ^ル 璃 ^リ 瑩 ^{エイ} 鏡 ^{キョウ}	瑰 ^{クイ} 珀 ^{ハク} 鎔 ^{カウ} 宮 ^{ミヤ}	月 ^{ツキ} 下 ^ノ 汲 ^{モヒ} 酒 ^{クムサカ}	岳 ^{ツカノ} 松 ^{マツ} 作 ^{シヤ} 帳 ^{チヤウ}	野 ^ノ 邊 ^{ヘリ} 啖 ^{フク} 壑 ^{コク}	森 ^{シノ} 蘭 ^ノ 引 ^{イタヒ} 琴 ^{ニクモツ}
娼 ^{コウ} 婦 ^フ	鑒 ^{ケン}	鉞 ^{エン}	磴 ^{エン}	犁 ^{レイ}	車 ^{シャ}	舟 ^{フネ}	宮 ^{ミヤ}
帝 ^{テイ} 黃 ^{ワウ}	子 ^シ 莊 ^{シヤウ} 孟 ^{メイ}	農 ^{ノウ} 神 ^{シン}	班 ^{ハン} 輪 ^{リン}	公 ^{コウ} 叔 ^{シュ} 孫 ^{ソン}	中 ^{チュウ} 枕 ^{シン}	狄 ^{テク} 黃 ^{ワウ}	帝 ^{テイ} 黃 ^{ワウ}
筭 ^ソ	席 ^{セキ}	矛 ^{モウ}	窟 ^{コウ}	瑟 ^セ	井 ^{セイ}	杵 ^{ショ}	笙 ^{シヤウ}
媼 ^{オン} 女 ^メ	王 ^{ワウ} 武 ^ブ	尤 ^{ユウ} 虫 ^{チュウ}	人 ^{ニン} 滋 ^シ	犧 ^{カキ} 庖 ^{バウ}	益 ^{イク} 白 ^{ハク}	交 ^{コウ} 離 ^リ	鳩 ^{コウ} 女 ^メ
廐 ^{ケイ}	輦 ^{ケン}	炙 ^{シヤウ}	金 ^{キン}	笑 ^{シャウ}	膺 ^{エイ}	琴 ^{キン}	農 ^{ノウ} 神 ^{シン}
公 ^{コウ} 成 ^{セイ} 蘇 ^ソ	譽 ^ヨ 帝 ^{テイ}	曹 ^{ソウ} 鳥 ^{ニョウ}	帝 ^{テイ} 黃 ^{ワウ}	帝 ^{テイ} 黃 ^{ワウ}	獵 ^{リョク} 包 ^{ハウ}	成 ^{セイ} 容 ^{ヨウ}	康 ^{コウ} 杜 ^ト
嫁 ^カ	卦 ^ケ	鞠 ^{キク}	市 ^シ	鼎 ^{テイ}	鐘 ^{チュウ}	數 ^{スウ}	酒 ^{シュ}
始 ^シ 吞 ^{ツン} 華 ^カ	犧 ^{カキ} 伏 ^{フク}	帝 ^{テイ} 黃 ^{ワウ}	融 ^{リョウ} 祝 ^{シュ}	帝 ^{テイ} 黃 ^{ワウ}	代 ^{ダイ} 鳥 ^{ニョウ}	首 ^{シュ} 隸 ^リ	康 ^{コウ} 杜 ^ト
服 ^{フク}	碁 ^キ	錢 ^{セン}	斧 ^フ	春 ^{シュン}	室 ^{シツ}	粉 ^{フン}	帳 ^{チヤウ}
帝 ^{テイ} 黃 ^{ワウ}	作 ^{サク} 舜 ^{シン}	王 ^{ワウ} 公 ^{コウ} 太 ^{タイ}	農 ^{ノウ} 神 ^{シン}	異 ^イ 赤 ^{セキ}	帝 ^{テイ} 黃 ^{ワウ}	王 ^{ワウ} 紂 ^{シュ}	帝 ^{テイ} 武 ^ブ 漢 ^{カン}
蠶 ^{サン}	弧 ^コ	鎧 ^{ガイ}	字 ^ジ	飢 ^キ	報 ^{ヘイ}	獄 ^{イク}	鏡 ^{キョウ}
代 ^{ダイ} 陵 ^{リョウ} 西 ^{セイ}	獵 ^{リョク} 包 ^{ハウ}	帝 ^{テイ} 黃 ^{ワウ}	顛 ^{テン} 荃 ^{セン}	帝 ^{テイ} 黃 ^{ワウ}	農 ^{ノウ} 神 ^{シン}	陶 ^{トウ} 阜 ^フ	奇 ^キ 尹 ^{イン}
櫛 ^{セツ}	筆 ^{ヒツ}	磬 ^{ケイ}	帚 ^{シュ}	飯 ^{ハン}	楫 ^{セツ}	醫 ^イ	盤 ^{パン}
代 ^{ダイ} 晉 ^{シン} 遊 ^ユ	枯 ^コ 蒙 ^{モウ}	帝 ^{テイ} 黃 ^{ワウ}	康 ^{コウ} 少 ^{ショ}	帝 ^{テイ} 黃 ^{ワウ}	帝 ^{テイ} 黃 ^{ワウ}	伯 ^{ハク} 岐 ^キ	甲 ^{ケツ} 孔 ^{コウ}
隸 ^リ	羅 ^ラ	鋸 ^{キョ}	箕 ^キ	獵 ^{リョク}	紬 ^{チュウ}	冠 ^{クワン}	履 ^リ
帝 ^{テイ} 黃 ^{ワウ}	代 ^{ダイ} 芒 ^{マウ}	子 ^シ 莊 ^{シヤウ} 孟 ^{メイ}	康 ^{コウ} 少 ^{ショ}	獵 ^{リョク} 伏 ^{フク}	倫 ^{リン} 蔡 ^{サイ}	帝 ^{テイ} 黃 ^{ワウ}	周 ^{シュウ} 於 ^オ

是にあらざるなりとけ、四方より二百坪と云を在るべし、別は二天守寺三之
と云めありたり、又分七の二とも、是れも三方をとり、三方より七の二とも、
里方より二百坪と云れば、是れも方二十百坪とも、是れも開年修除する所と
依りて、四方也と云へるなる、角よりなるの、百坪と云、然らると云ふ、新て、
と云ふと云ふなり。

終字付目製初朱

童子 コウシ 盤 ハシラ	賓客 ヒンカク 並履 ヘイリョ	留璃 リウリ 盤 ハシラ 鏡 キョウ	琥珀 コハク 鏡 キョウ 宮 ミヤ	月下 ツキサ 汲酒 モビニクサ	苦松 クソウ 作帳 サシトリ	野葛 ノカ 吹笙 フキセウ	森簡 シンカン 引琴 インシン
盤 ハシラ	鎧 カウ	字 ジ	麁 カウ	金 キン	獄 コク	箏 ソウ	笑 シヤウ
甲孔 コウ	帝黃 テウワウ	頤蒼 イサウ	公成 コウセイ	帝黃 テウワウ	陶阜 トウフ	恬蒙 テンモウ	徽包 ヒイホウ
粉 コ	孤 コ	磬 キョウ	宮 ミヤ	市 シ	捐 ケン	服 フク	犁 リ
王紂 ワウチュウ	犧 カウ	登帝 トウテイ	帝黃 テウワウ	獻 ケン	帝黃 テウワウ	帝黃 テウワウ	馮 フウ
車 クルマ	蠶 サナ	基 キ	冠 カウ	錢 セン	甌 オウ	笙 シウ	磴 ロウ
中枕 チュウマク	代陵 ダイリョウ	作 サ	帝黃 テウワウ	王公 ワウコウ	帝黃 テウワウ	鴉 カウ	輪 リン
鼎 テイ	履 リ	練 レン	紙 シ	羅 ラ	斧 フ	村 ムラ	矛 ムサシ
帝黃 テウワウ	則 ソク	帝黃 テウワウ	倫蔡 リンサイ	代芒 ダイマウ	農神 ノウシン	交 カウ	尤 ユウ
箕 キ	胥 キョウ	鏡 キョウ	獵 リョウ	擲 セツ	鋸 キョウ	井 セイ	鑿 タク
康 コウ	成 セイ	毒 ドク	獵 リョウ	代 ダイ	子 シ	益 イク	子 シ
錢 セン	室 シツ	醫 イ	灸 キョウ	酒 シウ	卦 ケ	瑟 セ	管 クワン
農神 ノウシン	帝黃 テウワウ	伯 ハク	帝黃 テウワウ	康 コウ	犧 カウ	獵 リョウ	帝黃 テウワウ
帝 テイ	春 チュウ	報 ホウ	鞠 キョク	數 スウ	嫁 カ	窟 コク	琴 シン
王武 ワウブ	異 イ	農神 ノウシン	帝黃 テウワウ	首 シュ	始 シ	人 ジン	農神 ノウシン
筭 サン	帚 シュ	飯 ハン	輦 ハン	鐘 ショウ	帳 チャウ	軌 キ	舟 フネ
康 コウ	少 ショウ	帝黃 テウワウ	譽 ヨ	代 ダイ	帝武 テイブ	舊 コウ	狄 テク

[illegible]



